



東京文化発信プロジェクト 子供たちに一流の文化体験を提供する「キッズ・ユース事業」のご案内

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて「東京文化発信プロジェクト」を展開しています。12 月から来春にかけて、4 つの柱のひとつである「キッズ・ユース事業」を中心に、大人も一緒に参加できるプログラムを多彩に開催します。

■子供の身体感覚を引き出す「パフォーマンスキッズ・トーキョー」

ダンスや演劇のアーティストを学校やホールに派遣、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナル舞台作品を作るプログラム「パフォーマンスキッズ・トーキョー」。今年度は、学校 12 か所とホール 5 か所等で実施しています。

来年 2 月には、今年度最後となるホールでのワークショップ「ゲバゲバキッズ・トーキョー野方～結成！21世紀コドモ舞踊団 2014 春～」が始まります。いま注目の若手ダンスグループ「21世紀ゲバゲバ舞踊団」と小学生がともに創るダンスは、来年 3 月 30 日(日)に、中野区の野方区民ホールでの発表公演で披露されます。

また、これに先駆けて、12 月 21 日(土)に、「パフォーマンスキッズ・トーキョー フォーラム」を開催します。ワークショップでは、子供たちがおよそ 10 日間にわたる時間を仲間やアーティストとともに過ごします。その体験を通じて、子供たちの社会性やコミュニケーションがどのように育まれ形成されていくのか、アーティストの実践事例をもとに、様々な視点から話し合います。



『12』平成 25 年 11 月 10 日(日) ムーブ町屋公演
撮影:仙道美穂子



『くるみ割り(風)人形と二十日(ぐらい)ねずみの大運動会☆キャー!!!』
平成 25 年 9 月 1 日(日) 光が丘・IMA ホール公演 撮影:仙道美穂子

【「ゲバゲバキッズ・トーキョー野方～結成！21世紀コドモ舞踊団 2014 春～」概要】

期 間:平成 26 年 2 月～3 月、計 10 回

対 象:小学 3 年生～6 年生 (定員 20 名)

会 場:野方区民ホール(中野区)

アーティスト:21世紀ゲバゲバ舞踊団

(略歴)2011 年に結成、8 名のダンサーが構成するダンスカンパニー。ワークショップを通じて、ひとつの作品をメンバー全員で振付・演出・出演する手法での制作を行う。2012 年には、初の舞踏団単独公演『崩壊寸前』を上演。

参加申込:ファクスまたは「芸術家と子どもたち」のウェブサイトからお申し込みください。[<http://www.children-art.net/>]

申込締切:平成 26 年 1 月 8 日(水)

発表公演:平成 26 年 3 月 30 日(日) 14:00 開演



21世紀ゲバゲバ舞踊団 撮影:福井理文

【「パフォーマンスキッズ・トーキョー フォーラム」概要】

プログラム: 社会性とは何か? コミュニケーションと身体感覚

～アーティストによる子供ワークショップの実践を通じて～

日 時: 平成 25 年 12 月 21 日 (土) 13:15～17:00

会 場: アーツ千代田 3331 東京文化発信プロジェクト ROOM302 (3 階)

参加費: 無料。(事前申込制/定員 50 名※先着順のため定員になり次第締切り)

詳細は「芸術家と子どもたち」のウェブサイトをご覧ください。

[<http://www.children-art.net/>]

登壇者: 渡辺公三 (文化人類学者/立命館大学大学院先端総合学術研究科教授/立命館大学副学長)

小池雄逸 (目黒区立五本木小学校情緒障害等通級指導学級教諭)

港大尋 (作曲家/音楽家)

脇坂崇平 (理化学研究所 脳科学総合研究センター適応知性研究チーム研究員)

新井英夫 (体奏家/ダンスアーティスト)

コーディネーター: 堤康彦 (特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち代表)

■ ポルトガルの劇場と連携 「ミュージック・エデュケーション・プログラム」国際連携企画

世界的な音楽都市である東京が、音楽文化の活性化、創造力の向上を目指し、「参加性」と「創造性」を柱とした様々な事業を展開する音楽フェスティバル「Music Weeks in TOKYO 2013」では、12 月から、海外の教育普及機関と連携した音楽教育プログラム「ミュージック・エデュケーション・プログラム」国際連携企画がスタートします。

ワークショップを通じて、音楽や芸術に対する関心を高めながら、自己表現能力やコミュニケーション能力を養い豊かな心を育てることを目的とした取り組みです。今年、質の高いエデュケーション・プログラムが豊富な劇場としてヨーロッパで注目を集めているポルトガルの「カーザ・ダ・ムジカ Casa da Música」と連携して実施します。

同劇場のエデュケーション・プログラム・コーディネーター及びワークショップ・リーダーを招聘し、アーティストや教職員、学生などを対象とした「ワークショップ・リーダー育成プログラム」を、12 月から来年 2 月にかけて実施し、受講者は、グループごとにワークショップを制作します。2 月 8 日 (土)、9 日 (日) には、同劇場の「カーザ・ダ・ムジカ ワークショップ」と、「ワークショップ・リーダー育成プログラム」の受講者たちの創作による「東京文化会館オリジナル・ワークショップ」を開催します。

【「ミュージック・エデュケーション・プログラム」国際連携企画ワークショップ概要】

●ワークショップ1 「ボディ・パーカッション」

日 時: 平成 26 年 2 月 8 日 (土) 10:30～

会 場: 東京文化会館 小ホール

対 象: 6 歳～大人

●ワークショップ2 「リズムカル・キッチン」

日 時: 平成 26 年 2 月 8 日 (土) 15:30～

会 場: 文京シビックセンター
レクリエーションホール

対 象: 小学 1～3 年生

●ワークショップ3 「コオロギの大冒険」

日 時: 平成 26 年 2 月 9 日 (日) 11:00～

会 場: 東京文化会館 小ホール

対 象: 生後 6 か月～18 か月

*ワークショップ1～3は「カーザ・ダ・ムジカ」のオリジナル・ワークショップです。

●ワークショップ4 「東京文化会館オリジナル・ワークショップ」

a) 日 時: 平成 26 年 2 月 8 日 (土) 13:00～

会 場: 文京シビックセンター 多目的室

対 象: 生後 19 か月～3 歳

b) 日 時: 平成 26 年 2 月 9 日 (日) 14:00～

会 場: 東京文化会館 リハーサル室

対 象: 4 歳～6 歳 (未就学児)

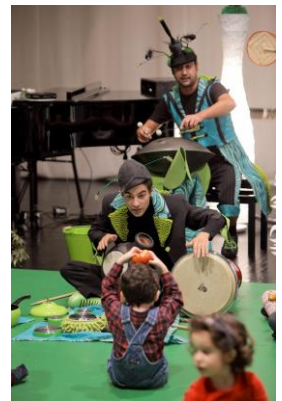
c) 日 時: 平成 26 年 2 月 9 日 (日) 15:30～

会 場: 東京文化会館 小ホール

対 象: 3 歳～大人

*詳細は東京文化会館ウェブサイトにて 1 月に発表します。 [<http://www.t-bunka.jp/mwit2013/>]

*ワークショップは、各回約 1 時間を予定しています。参加料は各回 500 円です。



©João Messias – Casa da Música

■ 伝統芸能を身近に、そして本格的に楽しむ「伝統芸能・面白体験ワールド」

来年1月12日(日)に、八王子市芸術文化会館にて「東京発・伝統WA感動 伝統芸能・面白体験ワールド」を開催します。米国出身の邦楽器演奏者「カート&ブルース」や和洋楽器の女性ユニット「sakura project」がゲスト出演。伝統芸能を知り尽くした「邦楽ジャーナル」編集長の田中隆文氏による、家庭にある道具を伝統楽器に変身させるステージなど、楽器のこことを楽しく知るためのプログラムが満載です。面白体験コーナーでは、宇宙飛行士の山崎直子さんが宇宙ステーションで弾いて話題になった「宇宙箏(*)」や、ペットボトルのキャップで作る尺八「キヤッパチくん」、八王子車人形などの多彩な体験メニューをお楽しみください。

*当日の箏は、山崎直子さんが宇宙で弾いた箏と一緒に作られた姉妹箏です。

【「伝統芸能・面白体験ワールド」概要】

日時:平成26年1月12日(日) 13:30～
会場:八王子市芸術文化会館(いちょうホール)・小ホール
出演者:田中隆文(邦楽ジャーナル編集長)
カート&ブルース(尺八・箏)
sakura project(和洋楽器)
八王子車人形西川古柳座 ほか
参加費:一般2,000円、学生1,000円



sakura project



カート&ブルース

(C) Katsumi Saiki / TEDxTokyo

■ 7か月のお稽古の成果を発表「キッズ伝統芸能体験」発表会

能楽(謡・仕舞、狂言、囃子)、長唄(三味線、囃子)、三曲(箏曲、尺八)、そして日本舞踊の一流の芸術家から、子供たちが7か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を舞台上で発表する「東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験」は、日本人が大切にしてきた「伝統」を知り、その心を継承することを目的としたプログラム。現在、4分野17コースで計315人の子供たちがお稽古中です。発表会は、来年3月に宝生能楽堂と浅草公会堂で開催します。

【「キッズ伝統芸能体験」発表会 概要】

●能楽

日時:平成26年3月21日(金・祝)
会場:宝生能楽堂

●長唄・三曲・日本舞踊

日時:平成26年3月27日(木)、28日(金)
会場:浅草公会堂

*入場無料、事前申込制。応募者多数の場合は抽選。申込先は「キッズ伝統芸能体験」ウェブサイトでご案内しています。[<http://www.geidankyo.or.jp/kids-dento/>]



キッズ伝統芸能体験 今年のお稽古の様子

■ 子供たちの美術館デビューを応援「Museum Start あいうえの」

ひみつの呪文は「ビビハドトカダブ」。「ビビハドトカダブック」を持って、上野公園に点在する9つのミュージアムへ冒険に出かけよう! 「Museum Start あいうえの」は、ミュージアムを体験する楽しさを知り、子供と大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。上野公園に点在する文化施設が連携し、子供たちの「ミュージアム・スタート」を応援するプログラムを展開しています。

また、「ビビハドトカダブック」は東京都美術館で希望者(小・中・高校生)に配付している「ミュージアム・スタート・パック」に入っています。(要事前申込み。パックはなくなり次第、配付を終了します)

パック配付日:平成26年2月15日(土)、16日(日)
3月15日(土)、16日(日)

*プログラムの詳細やお申し込みについては、公式ウェブサイトでご案内しています。[<http://museum-start.jp/>]



「こどもと家族の美術館 放課後の美術館」に参加した子供たち



「ビビットポイント」で呪文を唱える子供

●東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界へ向けて発信していきます。 www.bh-project.jp

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>

東京文化発信プロジェクト広報事務局 担当: 富樫、大原、三浦
TEL 03-3818-2465 FAX 03-5689-0455 E-mail tokyobunka@prinfo.co.jp